開志学園JSC8強

2年連続

全国高校総体 2015

全国高校総体は5日、近畿各地で競技を行い、サッカー女子1回戦で、開志学園JSCが東北1位の聖和学園（宮城）を3－0で破って、2年連続で8強に進んだ。

開志JSCは前半2分にFW大友千夏が先制ゴール。その後も前半ロスタイムにFW川尻真由、後半21分にFW中貝夢が追加点を挙げた。相手のシュートをわずか2本に抑える完勝だった。

剣道は男子団体の新潟第一が予選リーグを突破できず。三養基（佐賀）を破ったものの、大社（島根）に敗れた。女子個人も3回戦に進めなかった。

テニス男子シングルスと女子ダブルスの県勢は2回戦までに姿を消した。

カヌーは8種目で準決勝に進んだ。

サッカー

（みきぼうパークひょうご）

▽女子1回戦

開志学園JSC 3（2－0、1－0）0 聖和学園（宮城）

▽得点者【開】大友、川尻、中貝

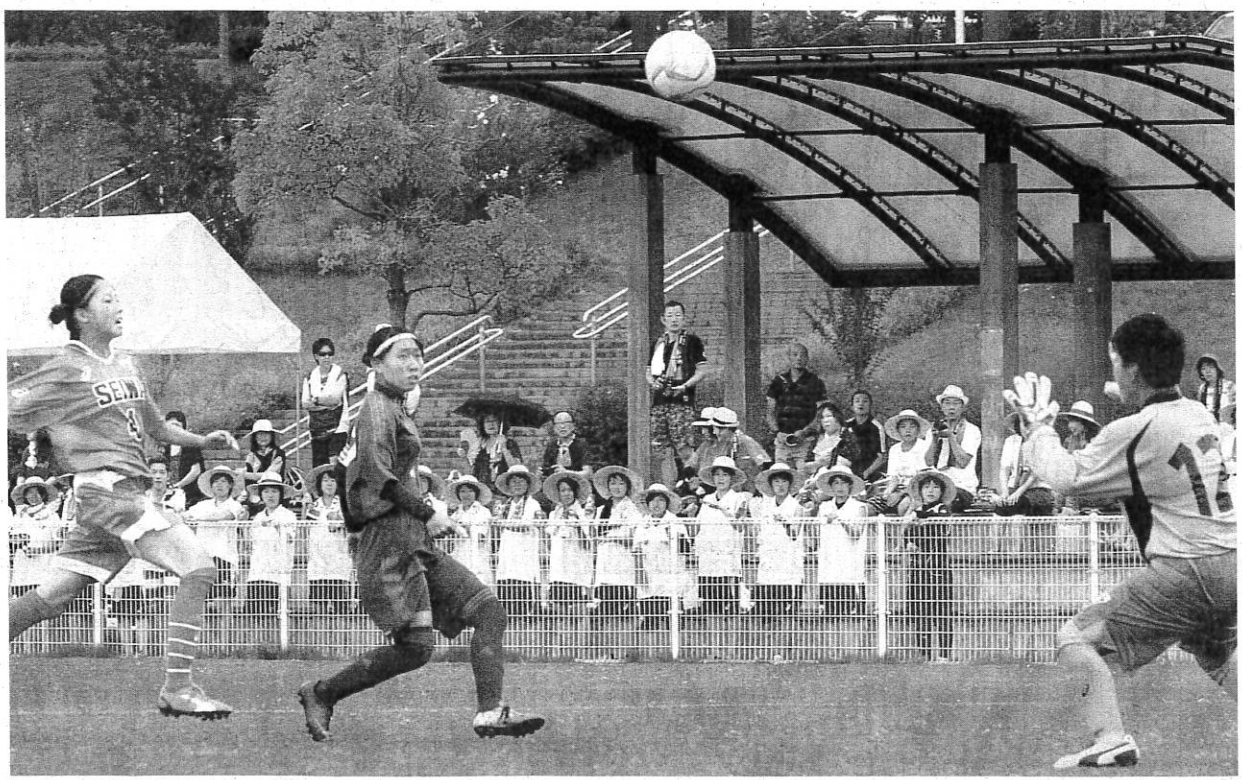
チーム一丸 攻守に圧倒

サッカー女子の開志学園JSCは聖和学園（宮城）を攻守ともに圧倒し、初出場の昨年に続いて初戦を突破した。

攻めては開始わずか2分、ワントップの大友千夏が相手のゴールキックに反応してボールを奪う。そこから「FWとして決定的なところでしっかり決めなきゃと、（GKと）1対1の練習はずっとやってきた」と落ち着き払ったループシュートで先制のゴールネットを揺らした。

前半終了間際に魅せたのは左サイドハーフの川尻真由。相手DFがパスを出そうとした瞬間を見逃さずにカットすると、素早いドリブルから右足で追加点。「（大友の先制で）チームが勢いに乗っていた。応援してくれている人たちに恩返しできた」と笑みが絶えない。さらに後半21分には右サイドハーフの中貝夢が厳しい角度からダメ押しの3点目を奪った。

無失点のDF陣も見事だった。中でもセンターバックの今野瞳は相手の得点源として警戒していたMF下山莉子を厳しくマークし、シュート数を1本に抑えるなど仕事をさせない。「試合前に『こうやろう』と決めたことをチームみんなで徹底できた」と一丸の勝利を喜んでいた。



開志学園JSC－聖和学園　前半2分、開志JSCのFW大友（左から2人目）がループシュートを決めて先制＝5日、兵庫県三木市